

海外発注可 納期相談 企画力自信有 コスト相談 オンライン技術 メイジンジャパン 試作可 小ロット 量産対応



クリーンで安全な『真空熱処理炉』。ワイヤー放電加工による金属の精密加工も得意とする

熱処理の便利屋をめざして 24時間365日稼働を実施 高精度品の短納期に取り組む

八田工業 株式会社

夕方持ち込み→翌朝渡し
頼られる熱処理の便利屋

昭和54年、切削加工会社の熱処理部門から独立、設立された八田工業。以来、高い技術で金属熱処理加工を行ってきた。しかしある日、転機が訪れる。バブル崩壊とともに業務量が減少したのだ。そこで隅谷社長は考えた。「24時間開けていれば需要はあるのでは？」と。経費削減のため、週休二日にする企業が増えていた時期に、まったく逆をいく発想。しかしこの挑戦には、顧客である地域企業に対して「愛される企業」でありたいという想いと、「機械は止めても人は切らない」という「従業員に対する愛」があった。

「24時間稼働する熱処理加工の便利屋になる」。そこに生まれた優先順位は「品質、スピード、コスト」だ。品質を守るためには、アルバイトでは対応できない。そこで社員を増員し交代制で配置した。完了まで同じ社員ではないことも考慮し、どんな部品も見失わず処理条件に応じて管理できるよう、一つひとつに現品票を添付。しっかりと受注できる体制を整え、ひとつの注文でも、夕方に預ければ翌朝には渡せるシステムを実現させた。

クリーン&セーフティの 熱処理を確立 さらなる新事業も展開

「皆が寝ている間、遊んでいる間に商品があがってくる。そこが『一番のウリ』と言う隅谷社長。しかし、同社のウリはそれだけに留まらない。創業時より「クリーン・セーフティ・ヒューマニティ」を基本としたものづくりを推進してきたことにより、クリーン



刃物鋼スーパーパウダー合金を使用したカスタムナイフ「ZDP189」。販売まで手掛ける

で安全な真空熱処理や後処理の手間を大幅削減できるイオン窒素化処理、ワイヤー放電加工による金属の精密加工等、充実した設備と高い技術を蓄積している。そんなノウハウの蓄積を發揮しているのが、刃物鋼スーパーパウダー合金を利用したカスタムナイフ「ZDP189」の開発だ。日立金属との共同研究で生まれたこの刃物鋼は、硬さと靱性を併せ持つ次世代の合金。均一微細なミクロ組織を有し、大型炭化物を含まないため刀付性に優れているのが特徴だ。同社は、この商品の販売も手掛ける。まさに、「刃物の町・堺」の企業として、新たな一歩を踏み出したところだ。

また、平成17年には『ワイヤーカット通電コマ』の寿命化において、『関西大学科学技術振興会 技術開発賞』を受賞。翌年、大阪府立大学と機械金属6社による共同研究が堺市産学官連携共同研究開発事業の支援対象に採択される等、技術開発にも注力。これからの技術開発に邁進する。

世界に負けない技術で勝負する。それが地元に還元すること。そんな「地域に愛される企業」を掲げ、今日も技術向上に励んでいる。

Company Profile

八田工業株式会社

住所 〒599-8265
堺市中区八田西町2-18-40
TEL 072-277-7227
FAX 072-277-8960
設立 昭和54年5月21日
資本金 1,000万円
従業員 35名
代表取締役社長 隅谷 哲三

ISO 14001 開西22
ISO 9001

■主な事業内容

真空熱処理、イオン窒素化処理、一般熱処理、ワイヤー放電加工、平面研磨加工 等

■主な取引先

ベアリング、機械部品、自動車部品、電機部品各メーカー 等

<http://www.hatta.co.jp>

他社には
負けない

当社のものづくり セールスポイント



代表取締役社長
隅谷 哲三さん



専務取締役
隅谷 賢三さん

「地域になくてはならない会社」として、
さらなる発展をめざします

お客様に喜んでいただける仕事をするために、よりクリーンでより安全に、そしてより人間関係の良い会社作りをめざしています。また、地域の方々より信頼され、便利にご利用いただける「地域になくてはならない会社」になることを基本に、さらなる発展をめざしています。